

教員の協働を促すアクティブラーニング 学びの質保証をいかに実現するか

～2012年度大学のアクティブラーニング調査報告とカリキュラム設計の課題～

日時

10月12日(土) 11:00～17:30

場所

河合塾 麴町校 8階 デルファイホール

対象

人文・社会科学系で非資格系の学科を中心に、大学、短大、専門学校でカリキュラム設計に関わる方およびアクティブラーニングに取り組む教員の方

定員

60名

受講料

おひとり様 10,000円(税込み)
(「2012年度大学のアクティブラーニング調査報告書」資料代と昼食代を含む)

「学習者中心の教育」において、アクティブラーニングは不可欠の教育手法であることが広く理解されてきています。しかし、教員が個的に取り組むだけの場合と、学部・学科全体として取り組むのでは、教育効果に大きな差があります。また、本来は大学における最大・最高のアクティブラーニングであるべき専門ゼミや卒業論文は、人文・社会科学系の学部・学科では多くの場合ブラックボックス化し、教員間の協働による学びの質保証も、まだまだ立ち遅れている現状があります。本セミナーでは、分析が完了したばかりの「2012年度大学のアクティブラーニング調査」の報告を行いながら、このような現状を超えていく方向を参加者とともに探ります。

セミナーの概要・プログラム

第1部 「2012年度大学のアクティブラーニング調査」結果報告

資格系を除く2,231学科を対象にした「2012年度大学のアクティブラーニング調査」の結果を分析し課題を抽出して報告します。

第2部 名古屋学院大学経済学部からの事例報告とグループ討論

第3部 立命館大学国際関係学部からの事例報告とグループ討論

学科の教員全体の協働によって、カリキュラムの核となる高次のアクティブラーニングを効果的に実現し、学びの質保証に取り組む2大学からの事例報告です。報告後にグループ討論を行います。

第4部 河合塾からの提言と立教大学経営学部 BLPの紹介

第1部で報告した課題の抽出と、第2部の事例報告を受けて、質保証としてのアクティブラーニングのカリキュラム設計の方向性を河合塾から提言するとともに、立教大学経営学部ビジネス・リーダーシップ・プログラム(BLP)を一つの「モデル・カリキュラム」として紹介します。

第5部 ワークショップ

河合塾からの調査報告、事例報告、提言とモデル・カリキュラムの紹介を受けて、どのようなアクティブラーニングのカリキュラム設計が可能かつ有効か、参加者全員でのワークショップを行います。

10:15～	開場
11:00～11:05	開会
11:05～11:45	第1部 「2012年度大学のアクティブラーニング調査」結果報告 河合塾からの報告 河合塾大学教育力調査プロジェクト
11:45～12:45	第2部 名古屋学院大学経済学部からの事例報告とグループ討論 名古屋学院大学 経済学部長 伊澤 俊泰
12:45～13:30	— 昼食 —
13:30～14:30	第3部 立命館大学国際関係学部からの事例報告とグループ討論 立命館大学 国際関係学部副学部長 河村 律子
14:30～16:00	第4部 河合塾からの提言と立教大学経営学部BLPの紹介 河合塾からの提言 河合塾大学教育力調査プロジェクト 立教大学経営学部 BLPの紹介 立教大学経営学部 BLP主査 リーダーシップ研究所長 日向野 幹也
16:00～17:20	第5部 ワークショップ 河合塾 開発研究職 成田 秀夫
17:20～17:30	閉会

第2部



伊澤 俊泰
教授

名古屋学院大学
経済学部
学部長

<略歴>
一橋大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学後、1995年名古屋学院大学経済学部専任講師として着任、2008年より経済学部教授(専攻は国際経済学)。この間2002年9月～2003年8月までシェフィールド大学(英国)東アジア研究学部客員教授を務める。2010年より経済学部長に就任し、経済学部カリキュラム改革に従事する。

第3部



河村 律子
准教授

立命館大学
国際関係学部
副学部長

<略歴>
京都大学大学院農学研究科修了。2011・12年度立命館大学国際関係学部副学部長(教学担当)として新カリキュラムの実施に携わる。2002年度よりグローバル・シミュレーション・ゲーミング(GSG)を担当し、学生スタッフとともにGSGの充実を図ってきた。専門領域である農村活性化の実践をゼミ生とともにやっている。

第4部



日向野 幹也
教授

立教大学
経営学部
BLP主査・
リーダーシップ
研究所長

<略歴>
東京大学経済学部卒業、同大学院博士課程終了、経済学博士。東京都立大学経済学部教授を経て2005年立教大学教授。2006年経営学部開設時から経営学部でコアプログラムBLP主査。2013年全学の立教GLP主査。BLP創業以来の奮闘史とリーダーシップ教育の意義を新著『大学教育アントレプレナーシップ』(ナカニシヤ出版、2013年7月)で解説。

第5部(ファシリテーター)



成田 秀夫

河合塾
開発研究職・
現代文科講師

<略歴>
中央大学大学院・博士課程(哲学専攻)在学中から、河合塾にて現代文科講師を務める。授業では「わかることの愉しさ」を追求。また、大学生向けの「日本語表現講座」を開発し、自らも大学の教壇に立つ。2010年より、初年次教育学会理事を務め、講演会・シンポジウムのパネラーも積極的にこなしている。

- アクティブラーニングで学びの質保証を行うために必要なことは何か？
- 「深い学び」につながるアクティブラーニングを実現するカリキュラム設計上のポイントは？
- 教員の協働を実現するアクティブラーニングのカリキュラム設計とは？
- 専門ゼミ・卒業論文を最高のアクティブラーニングとして実質化するためには何が必要か？
- アクティブラーニングを核としたカリキュラム設計のための突破口をどこに求めるか？
- 学生の協働を通じたリーダーシップやジェネリックスキルをいかに育成するか？

会 場 ご 案 内

河合塾 麹町校8階 デルファイホール 東京都千代田区六番町1-3



- ・JR総武線市ヶ谷駅より徒歩3分
- ・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅3番出口より徒歩3分
- ・JR中央線・総武線四ツ谷駅麹町口より徒歩5分
- ・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅1番出口より徒歩6分
- ・東京メトロ有楽町線麹町駅6番出口より徒歩2分

お申込み方法(定員60人になり次第締め切りとさせていただきます)／お問い合わせ

【お申込み期間】 2013年 8月 9日(金) 12:00～ 2013年 10月 10日(木)17:00

【参加費用(報告書代および昼食代含む)】 おひとり様 税込み¥10,000(当日受付にてお支払い願います)

【お申込み方法】 下記WEBサイトよりお申し込みください。

WEB: <http://www.kawai-juku.ac.jp/school/event/active>



2013年度第1回河合塾FDセミナー参加申込サイトQRコード

【お問い合わせ】 電話: 03(6811)5531 (※平日10:00～17:00) e-mail: zemiryoku@kawai-juku.ac.jp

河合塾教育研究部 担当: 中條、野吾(やご)、赤塚